

第 2 回 市民福祉常任委員会 概要報告

年 月 日	令和4年2月10日	会場	第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高野美枝子、東川孝義、東千春、川村幸栄、倉澤宏、五十嵐千絵				
委員外議員					
欠席委員					

審査及び報告事項

◎所管部（市民部、健康福祉部、市立総合病院）の報告及び当面の課題説明を受け質疑を行った。
【市民部】

1. 令和4年度地方税制改正について

(1) 個人住民税関連

- ・住宅ローン控除の特例の期間延長

所得税の住宅ローンの適用者（住宅の取得をして令和4年から令和7年までの間に居住の用に供した者）について、所得税から控除しきれなかった額を、所得税の課税総所得金額の5%（最高9.75万円）の控除限度額の範囲内で、個人住民税から控除する。

※この措置による減収額については、全額国費で負担する。

(2) 固定資産税関連

- ・土地に係る固定資産税等の負担調整

激変緩和の観点から、令和4年度に限り、商業地等に係る課税標準額の上昇幅を評価額の2.5%（現行5%）とする。

(3) 納税環境関連

- ・地方税務手続きのデジタル化

eLTAX（地方税のオンライン手続きのためのシステム）を通じた電子申告・申請の対象手続きや電子納付の対象税目・納付手段を拡大する。

2. 補正予算について

補正予算の考え方についての報告を受けた。

3. 国民健康保険税課税限度額の引き上げについて

(1) 改正の趣旨

「令和4年度税制改正の大綱」（令和3年12月24日閣議決定）において、国民健康保険税における負担の公平性を図るため「課税限度額の引き上げ」が盛り込まれた。

今後、3月末までに国により地方税法施行令が改正される見込み。名寄市では、国が定める法廷どおりの改正を行うこととし、今後の名寄市国民健康保険運営協議会において、課税限度額の引き上げについて諮問する予定となっている。

(2) 改正の主な内容について

- ・課税限度額の引き上げ

※課税限度額とは、1世帯（納税義務者）に課税される限度の金額（年間）のこと。

医療分：増加額2万円、後期分：増加額1万円、介護分：変更なし【合計：3万円】

4. 令和4年第1回市議会定例会提出の主な補正予算案件について

補正予算の考え方についての報告を受けた。

5. その他

第4次名寄市地球温暖化防止実行計画の目的、期間、基準年、計画の範囲等の概要説明を受けた。

【健康福祉部】

1. 第1回定例会提案予定の主な補正予算（案）について

補正予算の考え方についての報告を受けた。

2. パブリックコメントの実施結果について

第3期名寄市地域福祉計画（素案）に対するパブリックコメントを令和3年12月27日～令和4年1月25日まで実施した。

その結果、地域再犯防止推進計画で、団体名の記載要望意見が1件あったが、地域福祉の推進の詳細は福祉分野における各個別計画に記載しており、それぞれの分野において地域福祉へご尽力を頂いている個人名や団体名、会社名等の記載については行わないこととしており、案の修正は行わない。

3. 幼保連携型認定こども園整備に伴う保育所の再編について

西保育所または東保育所の閉所と3歳以上の受け入れ停止について、令和5年度末をもって西保育所を閉所する。

また、令和6年度からは、東保育所を3歳未満児に特化した保育所として運用する。

【質疑】

Q：令和6年度からの3歳以上の受け入れ体制は、どのようになるのか。

A：令和6年からカトリック幼稚園が認定こども園へ移行予定であり、連携体制を取り、受け入れていく。

4. 新型コロナウイルス感染症対策について

(1) 国及び北海道の状況について

国内及び北海道内の感染状況は、連日、高い水準で感染者が確認されており、国では、13都県に適用している「まん延防止等重点措置」の延長と高知県を追加する方針を固めた。

また、医療提供体制や自宅療養者への支援体制など厳しい状況にあり、福祉施設や幼児施設、学校、医療機関等でのクラスター発生により全国各地で大きな影響が出ている。

(2) 名寄市内の状況について

市内の感染状況は、北海道の公表で1月16日の週が7人、1月23日の週が47人、1月30日の週が47人。今週（2月6日から）は、2月8日までに38人の感染者が確認されている。

名寄市立総合病院では、新たに職員1人患者3人の感染が確認され、2月7日からの感染者は10人となり、北海道ではクラスターの認定をした。

また、外来は通常通り診療をしているが、入院は入院延期の調整をする場合の対応を行っている。

(3) ワクチンの追加接種（3回目接種）について

2月13日から一般高齢者の追加接種を始める。一般高齢者へ接種券やワクチン接種案内はがき（日時、会場、ワクチンの種類を指定）を順次発送している。

初回接種（1回目・2回目）についても、保健センターで受付して文化センター会場での接種を予定

5. その他

暖房費用緊急支援事業で、2月8日現在711世帯からの申請があり、1月20日より随時支給。

【名寄市立総合病院】

1. 院内クラスターの対応状況について

(1) 感染及び検査状況

2月9日現在、4箇所の病棟で患者7名、職員3名の感染がわかり、道がクラスターと認定した。その他の入院患者及び職員・委託業者職員は、優先順を決めて順次検査を実施。

(2) 診療制限状況

外来は通常通り診療しているが、入院予約、退院予定の患者は入退院日の延期などの調整を行っている。

分娩、救急は通常通りの対応。事業者は当院からの要請以外、立ち入りを制限している。

2. 令和4年第1回定例会提出予定議案について

補正予算並びに事業会計予算の考え方についての報告を受けた。

3. 令和3年度 市立総合病院第3四半期の収支について

前期に比べ医業収益は減、医業費用は増加となっており、コロナウイルス感染症対応による、医業外収益が増加し、純利益は2,100千円の減となっている。

4. 令和4年度 診療体制について

常勤医は、全体で2名増の66名体制

研修医は、2名減の6名体制。医師総数は72名で増減なし。

看護職員は3月末9名退職、4月新採用19名（内名寄市立大学出身者6名）の予定。

医療技術等職員は、3月末退職2名、4月新採用6名の予定。

※国家資格を新規に取得する新採用予定者については、可否により最終決定されるので、確定人数ではない。

5. その他

(1) 令和4年度診療報酬改定について

令和4年度の報酬改定は、診療報酬+0.43%。薬価等▲1.35%。材料価格▲0.02%と決定されたが、診療報酬改定には、看護の処遇改善のための特例的な対応も含まれており、厳しい状況である。

(2) 看護職員等処遇改善事業について

地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員を対象に、賃上げ効果が期待される取組を行うことを前提として、収入を1%程度（月額4,000円）引き上げるための措置を、令和4年2月から実施するとの指針が示された。

具体的な取組については、全体のバランスも考慮して検討する。

以上